

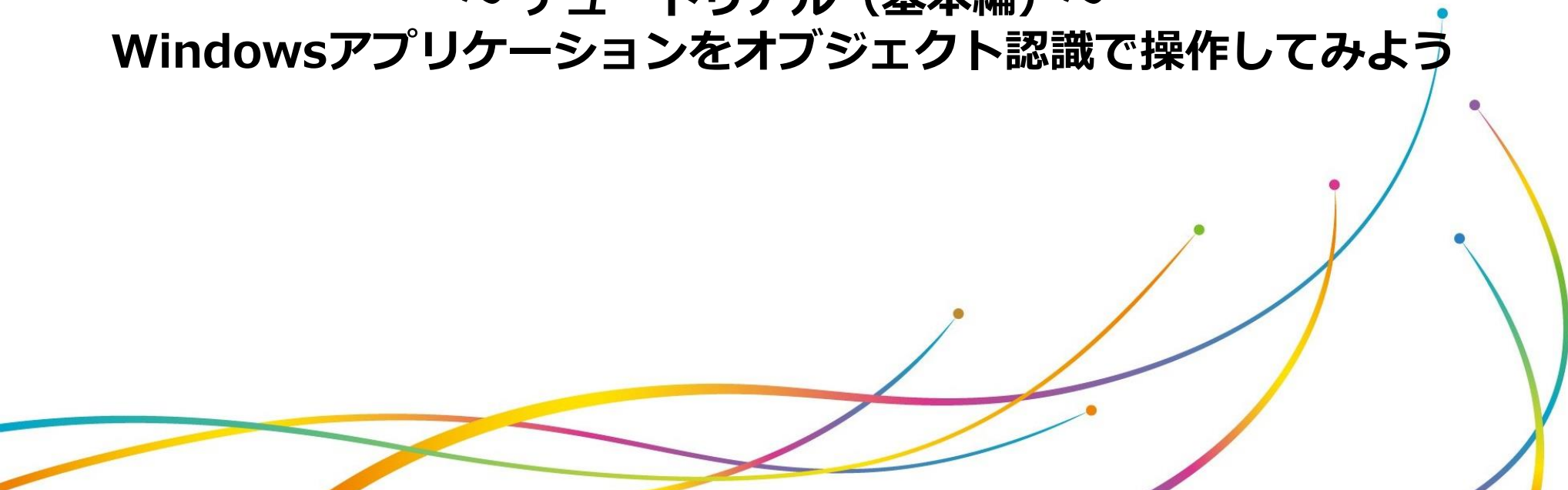


ミノロボ

RPA **MinoRobo**®

Robotic Process Automation

～ チュートリアル（基本編）～
Windowsアプリケーションをオブジェクト認識で操作してみよう



目次

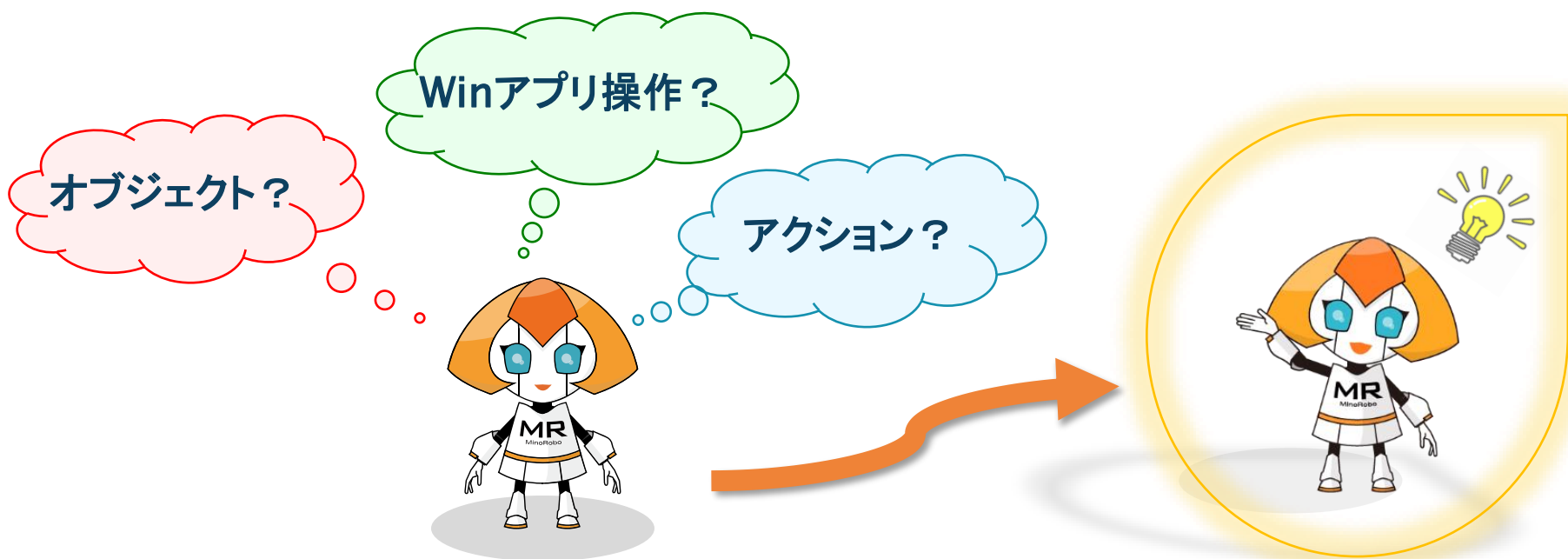
本チュートリアルの目的	… P. 3
1. 事前準備	… P. 4
2. Windowsアプリケーション操作の基本を理解しよう	… P. 7
3. Windowsアプリケーションの操作を自動化してみよう	
・アプリケーションを起動する	… P. 13
・値をセットする	… P. 18
・値を取得する ※入力欄にセットした値を取得する	… P. 21
・値を取得する ※表示内容を取得する	… P. 25
・ボタンをクリックする	… P. 29



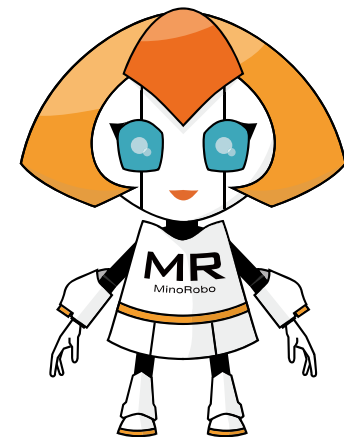
RPA **MinoRobo®**

◎ 本チュートリアルの目的

本チュートリアルでは、「オブジェクト認識」を活用したWindowsアプリケーション自動化の基本操作を体験します。本チュートリアルを終えることで、Windowsアプリケーション操作の基本的な考え方を理解し、今後のシナリオ作成が円滑に進められるようになることを目的としています。

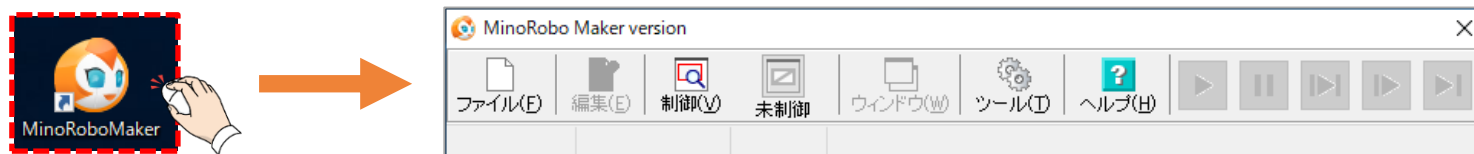


1. 事前準備

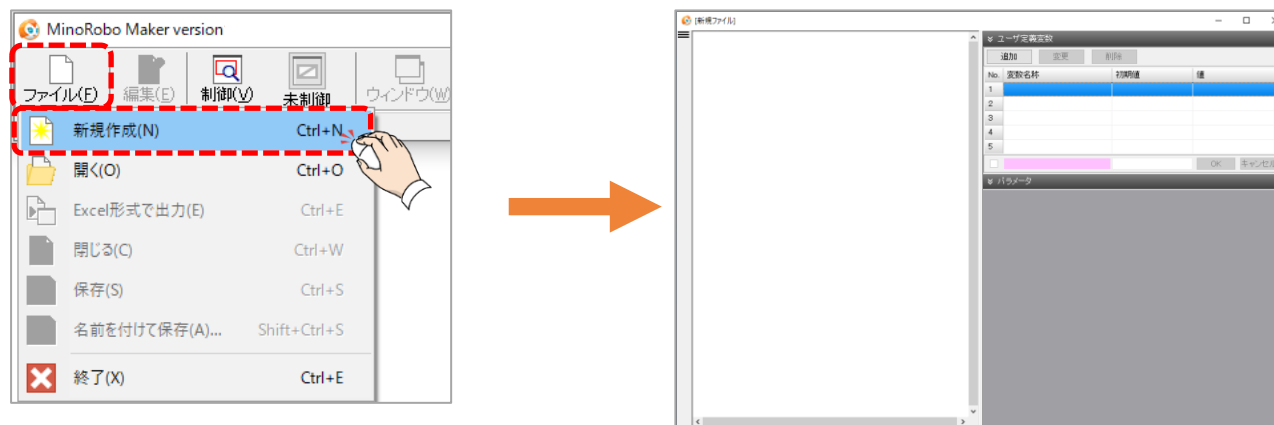


◎ 本チュートリアルを開始する前の事前準備

(1) MinoRobo Makerを起動しておきます。



(2) シナリオ作成画面を表示しておきます。

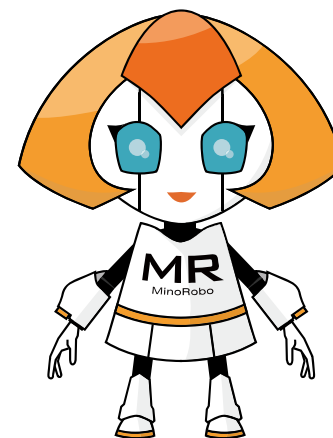


◎ 本チュートリアルを開始する前の事前準備

- (3) 本チュートリアルでは、同梱のフォルダ「Winサンプルアプリ」に格納されているアプリケーション（RPADemo.exe）を用いて操作を行います。
保存先を確認しておいてください。



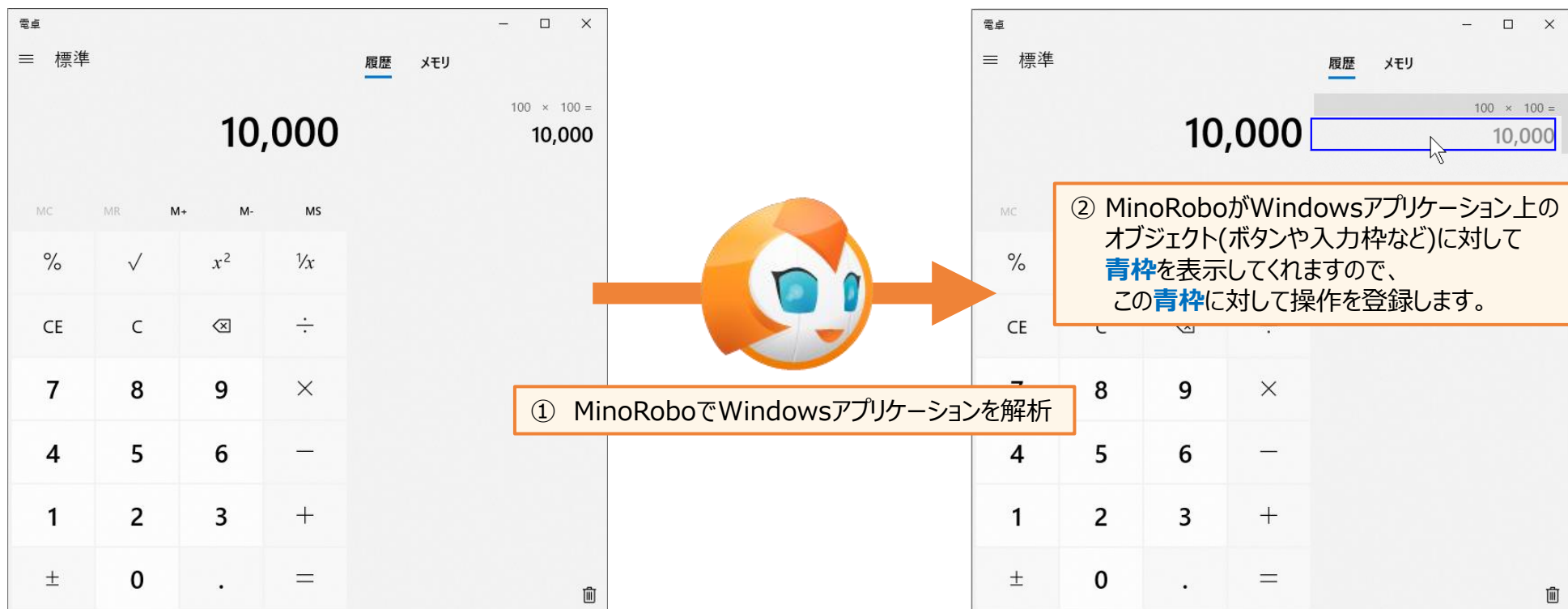
2. Windowsアプリケーション操作の基本を理解しよう



◎ 操作を始める前に理解しておくこと

(1) Windowsアプリケーションは「オブジェクト認識」で操作します！

MinoRoboでは通常、「オブジェクト認識」を使用してWindowsアプリケーション上の操作を自動化していきます。ただし、「オブジェクト認識」が出来ない場合はキーボード打鍵や座標操作などを活用して操作を自動化します。本チュートリアルでは「オブジェクト認識」を使用した基本操作を学習していきます。

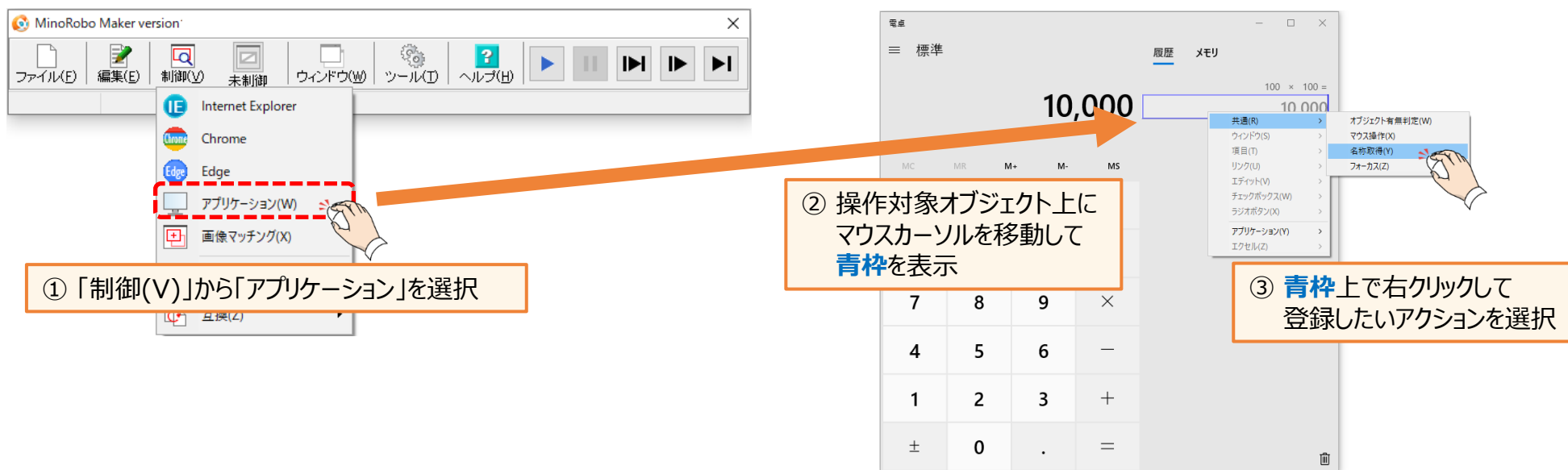


◎ 操作を始める前に理解しておくこと

(2) 青枠で表示された「オブジェクト」に対して操作を登録します！

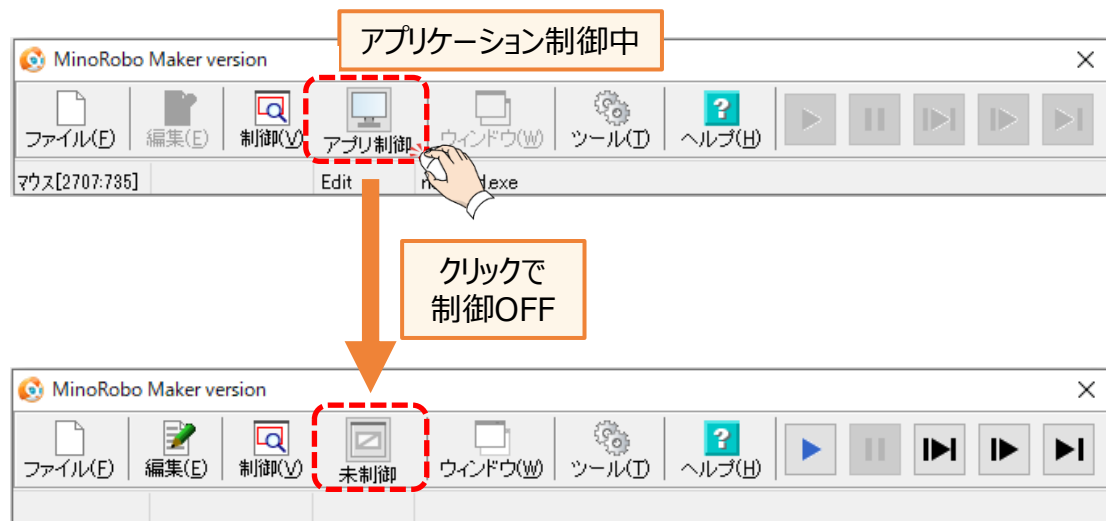
■ Windowsアプリケーションに対して「オブジェクト認識」でアクションを登録する方法

- ① メイン画面の「制御(V)」→「アプリケーション」を選択
- ② Windowsアプリケーションの操作対象オブジェクト(ボタンや入力枠など)上にマウスカーソルを移動し、**青枠**を表示
- ③ **青枠**上で右クリックしてアクション選択メニューを表示し、その中から登録したいアクションを選択



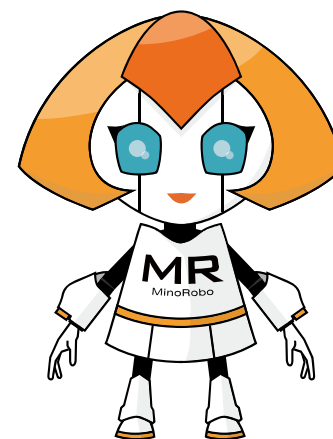
◎ 操作を始める前に理解しておくこと

(3) オブジェクト認識の ON/OFF はメイン画面で切り替え可能！



※ 制御をOFFにしたあと、再度オブジェクト認識をONにする場合は、メイン画面の「制御(V)」から「アプリケーション」を選択します。

3. Windowsアプリケーションの操作を自動化してみよう



◎以降では、以下の流れを「オブジェクト認識」を使用して自動化していきます。

RPA 一覧登録 デモ画面

社員番号	氏名	所属部署	稼働時間	コメント

① サンプルアプリを起動します。

社員番号 氏名 所属部署

工数 コメント

登録 キャンセル

RPA 一覧登録 デモ画面

社員番号	氏名	所属部署	稼働時間	コメント

② サンプルアプリの「社員番号」に値をセットします。

社員番号 氏名 所属部署

工数 コメント

登録 キャンセル

RPA 一覧登録 デモ画面

社員番号	氏名	所属部署	稼働時間	コメント

③ サンプルアプリに表示されている値を取得します。
※赤線で囲っている箇所の値を取得します。

社員番号 氏名 所属部署

工数 コメント

登録 キャンセル

RPA 一覧登録 デモ画面

社員番号	氏名	所属部署	稼働時間	コメント

④ サンプルアプリの「登録」ボタンを押下して、入力内容を登録します。

社員番号 氏名 所属部署

工数 コメント

登録 キャンセル

◎ アプリケーションを起動する -1

① サンプルアプリを**手動**で起動しておきます。



RPA 一覧登録 デモ画面

社員番号	氏名	所属部署	稼働時間	コメント

① サンプルアプリを起動

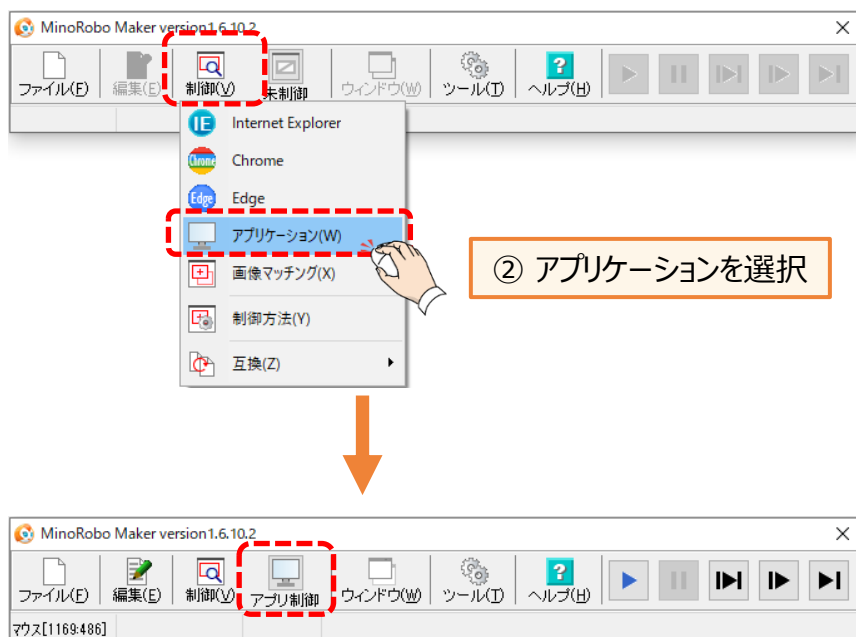
社員番号 氏名 所属部署

工数 コメント

登録 キャンセル

◎ アプリケーションを起動する -2

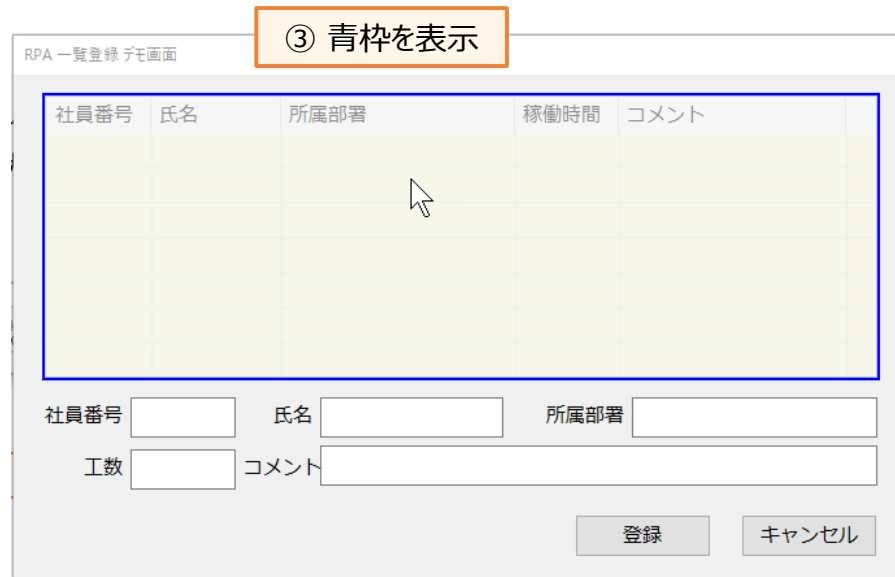
- ② メイン画面の「制御(V)」→「アプリケーション(W)」を選択して、Windowsアプリケーション制御の状態に切り替えます。



② アプリケーションを選択

「アプリ制御」のアイコンが表示されていることを確認
※当アイコンをクリックすることで制御をOFFに切り替えることができます。

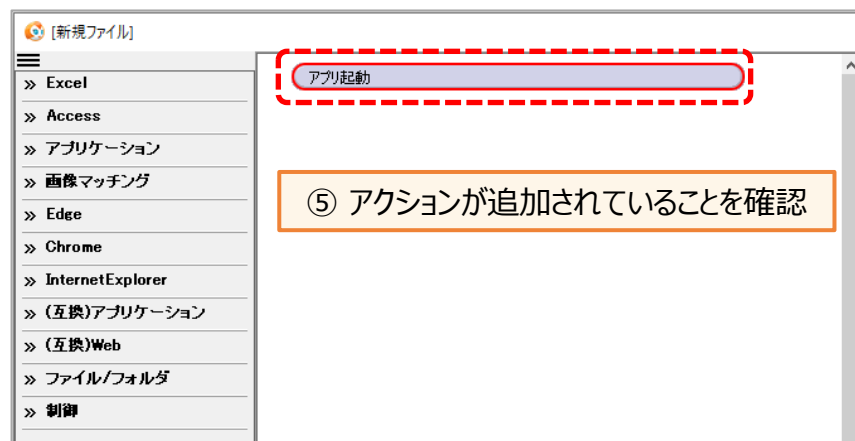
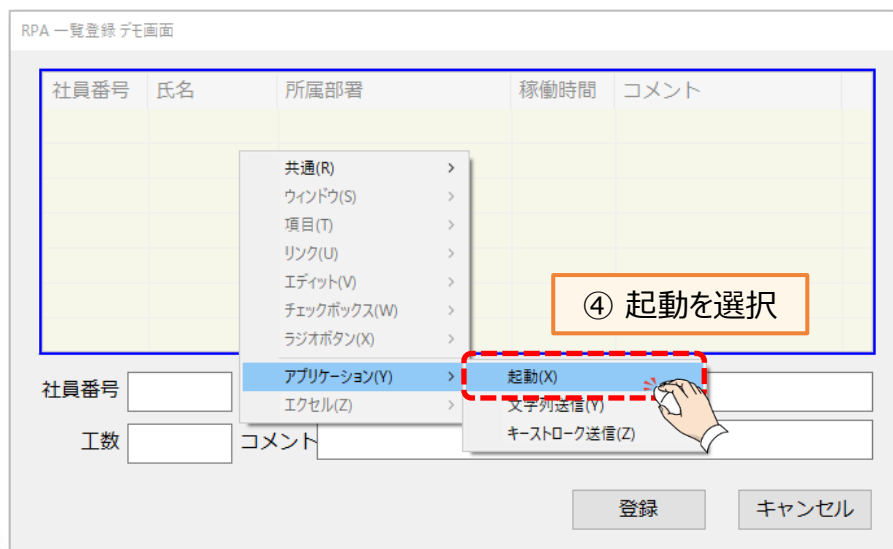
- ③ 以下画像のように、サンプルアプリ上の**適当な位置**にマウスカーソルを移動して**青枠**を表示します。



◎ アプリケーションを起動する -3

- ④ 表示された青枠上で右クリックしてアクション選択メニューを表示し、「アプリケーション(Y)」→「起動(X)」を選択します。

- ⑤ シナリオ画面に「アプリ起動」が追加されたことを確認します。



ポイント

青枠表示後、マウスカーソルを動かさせずに止めておくことで青枠内が「白色」の状態に変化します。この状態でマウス右クリックをするとアクション選択メニューが表示されます。

◎ アプリケーションを起動する -4

- ⑥ 追加したアクションの動作を確認するため、サンプルアプリの「キャンセル」ボタンをクリックしてアプリケーションを手動で終了させます。

RPA 一覧登録 デモ画面

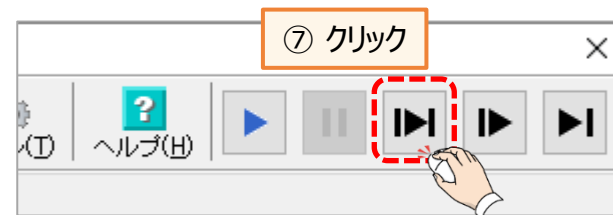
社員番号	氏名	所属部署	稼働時間	コメント

社員番号 氏名 所属部署
工数 コメント

登録 キャンセル

- ⑥ キャンセルをクリックしてアプリケーションを閉じる

- ⑦ メイン画面の「選択範囲のアクションを実行」をクリックしてアクションを実行します。



便利なショートカットキー

シナリオ画面とメイン画面を切り替える操作は、以下のショートカットキーを活用することで簡単に操作できます。

「Ctrl+Tab」・・・シナリオ画面とメイン画面を切り替える
「Ctrl+M」・・・メイン画面を前面に表示

◎ アプリケーションを起動する -5

⑧ サンプルアプリが起動することを確認します。

RPA 一覧登録 デモ画面

社員番号	氏名	所属部署	稼働時間	コメント

⑧ サンプルアプリが起動することを確認

社員番号 氏名 所属部署

工数 コメント

登録 キャンセル

◎ 値をセットする -1

- ① 以下画像のように、サンプルアプリの「社員番号」入力欄にマウスカursorを移動して**青枠**を表示します。

RPA 一覧登録 デモ画面

社員番号	氏名	所属部署	稼働時間	コメント

① 操作対象のオブジェクトに**青枠**を表示

社員番号 氏名 所属部署

工数 コメント

登録 キャンセル

- ② 表示された**青枠**上で右クリックしてアクション選択メニューを表示し、「エディット(V)」→「値セット(Y)」を選択します。

RPA 一覧登録 デモ画面

社員番号	氏名	所属部署	稼働時間	コメント

② 「値セット(Y)」を選択

社員番号 氏名 所属部署

工数 コメント

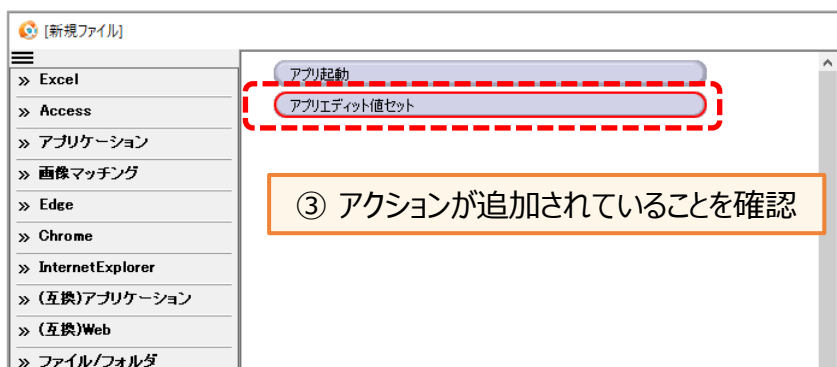
登録 キャンセル

青枠が表示されない時は・・・

アプリケーション制御がOFFになっている可能性があります。
メイン画面の「制御(V)」→「アプリケーション」を再度選択
してお試しください。

◎ 値をセットする -2

- ③ シナリオ画面に「アプリエディット値セット」が追加されたことを確認します。



- ④ パラメータエリアの「設定値」に適切な値（ここでは12345）を入力します。

▼ アプリエディット値セット パラメータ	
設定値	12345 ④ 適切な値を入力
アプリケーション名称	C:\MinoRobo\チュートリアル\10_Sampleアプリ\Winサン
ウィンドウタイトル	RPA 一覧登録 デモ画面
アプリ対象要素	/Edit[5][Name=""]
待ち時間	00:00:00

◎ 値をセットする -3

- ⑤ メイン画面の「選択範囲のアクションを実行」をクリックしてアクションを実行します。



- ⑥ サンプルアプリの対象オブジェクトに値が入力されたことを確認します。

RPA 一覧登録 デモ画面

社員番号	氏名	所属部署	稼働時間	コメント

⑥ 値がセットされていることを確認

社員番号 氏名 所属部署

工数 コメント

登録 キャンセル

◎ 値を取得する -1 ※入力欄にセットした値を取得する

- ① 以下画像のように、サンプルアプリの「社員番号」入力欄にマウスカーソルを移動して**青枠**を表示します。

RPA 一覧登録 デモ画面

社員番号	氏名	所属部署	稼働時間	コメント

① 操作対象のオブジェクトに**青枠**を表示

社員番号 氏名 所属部署

工数 コメント

登録 キャンセル

- ② 表示された**青枠**上で右クリックしてアクション選択メニューを表示し、「エディット(V)」→「値取得(Z)」を選択します。

RPA 一覧登録 デモ画面

社員番号	氏名	所属部署	稼働時間	コメント

② 「値取得(Z)」を選択

社員番号 氏名 所属部署

工数 コメント

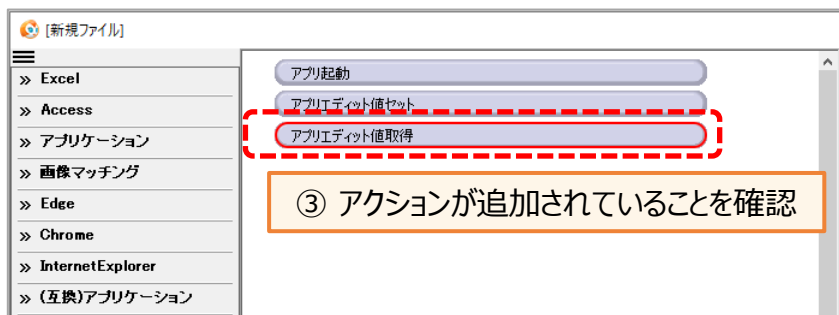
登録 キャンセル

青枠が表示されない時は・・・

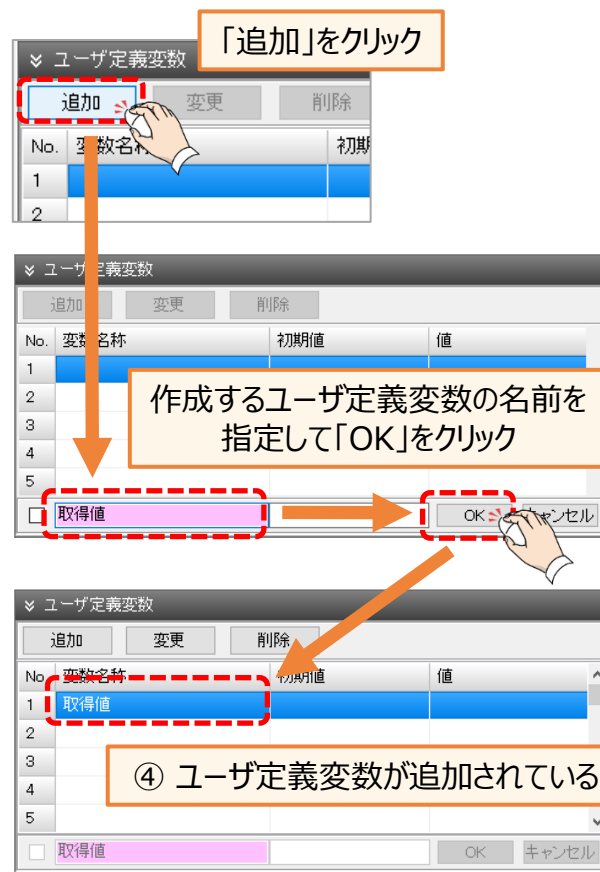
アプリケーション制御がOFFになっている可能性があります。
メイン画面の「制御(V)」→「アプリケーション」を再度選択
してお試しください。

◎ 値を取得する -2 ※入力欄にセットした値を取得する

- ③ シナリオ画面に「アプリエディット値取得」が追加されたことを確認します。



- ④ パラメータエリアの「取得先変数名」にはユーザ定義変数を指定する必要があるため、ユーザ定義変数を追加します。



◎ 値を取得する -3 ※入力欄にセットした値を取得する

⑤ 追加したユーザ定義変数をパラメータエリアの「取得先変数名」にドラッグ＆ドロップします。

ユーザ定義変数

No.	変数名	初期値	値
1	取得値		
2			
3			
4			
5			

取得値 OK キャンセル

アプリエディット値取得 パラメータ

取得先変数名

アプリケーション名称 C:\MinoRobo\チュートリアル\10_Sampleアプリ\Winサン

ウィンドウタイトル RPA 一覧登録 デモ画面

アプリ対象要素 /Edit[5][Name=""]

待ち時間 00:00:00



ユーザ定義変数

No.	変数名	初期値	値
1	取得値		
2			
3			
4			
5			

取得値 OK キャンセル

アプリエディット値取得 パラメータ

取得先変数名 \$取得値\$

アプリケーション名称 C:\MinoRobo\チュートリアル\10_Sampleアプリ\Winサン

ウィンドウタイトル RPA 一覧登録 デモ画面

アプリ対象要素 /Edit[5][Name=""]

待ち時間 00:00:00

⑤ ドラッグ＆ドロップ

◎ 値を取得する -4 ※入力欄にセットした値を取得する

- ⑥ メイン画面の「選択範囲のアクションを実行」をクリックしてアクションを実行します。



- ⑦ 入力した社員番号の値がユーザ定義変数に格納されたことを確認します。

RPA 一覧登録 デモ画面

社員番号	氏名	所属部署	稼働時間	コメント

社員番号 氏名 所属部署

工数 コメント

登録 キャンセル

ユーザ定義変数

追加 変更 削除

No.	変数名	初期値	値
1	取得値		12345
2			
3			
4			
5			

☐ 取得値 OK キャンセル

- ⑦ 値が格納されていることを確認

◎ 値を取得する -1 ※表示内容を取得する

- ① 以下画像のように、サンプルアプリの列「氏名」にマウスカーソルを移動して**青枠**を表示します。

RPA 一覧登録 デモ画面

社員番号	氏名	所属部署	稼働時間	コメント

① 操作対象のオブジェクトに**青枠**を表示

社員番号 12345 氏名 所属部署

工数 コメント

登録 キャンセル

- ② 表示された**青枠**上で右クリックしてアクション選択メニューを表示し、「共通(R)」→「名称取得(Y)」を選択します。

RPA 一覧登録 デモ画面

社員番号	氏名	所属部署	稼働時間	コメント

② 「名称取得(Y)」を選択

社員番号 12345 氏名 所属部署

工数 コメント

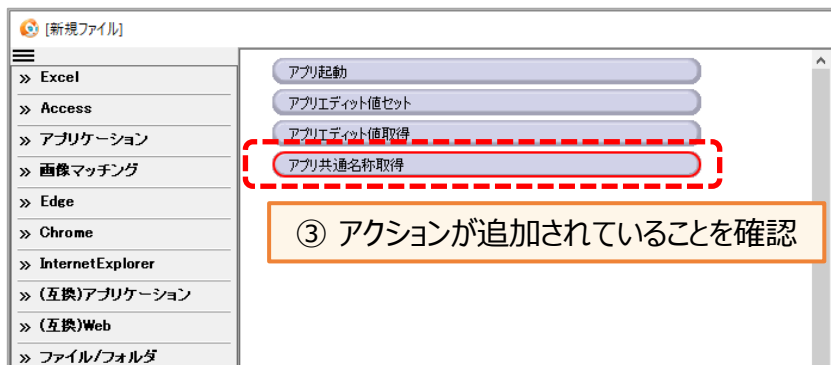
登録 キャンセル

青枠が表示されない時は・・・

アプリケーション制御がOFFになっている可能性があります。
メイン画面の「制御(V)」→「アプリケーション」を再度選択
してお試しください。

◎ 値を取得する -2 ※表示内容を取得する

③ シナリオ画面に「アプリ共通名称取得」が追加されたことを確認します。



◎ 値を取得する -3 ※表示内容を取得する

- ④ 追加したユーザ定義変数をパラメータエリアの「取得先変数名」にドラッグ & ドロップします。

ユーザ定義変数

追加 変更 削除

No.	変数名	初期値	値
1	取得値		12345
2			
3			
4			
5			

☐ 取得値 OK キャンセル

アプリ共通名称取得 パラメータ

取得先変数名

アプリケーション名称 C:\MinoRobo\チュートリアル\10_Sampleアプリ\Winサン

ウィンドウタイトル RPA 一覧登録 デモ画面

アプリ対象要素 /List[1][Name=""]/Header[1][Name="ヘッダー コントロ

待ち時間 00:00:00



ユーザ定義変数

追加 変更 削除

No.	変数名	初期値	値
1	取得値		12345
2			
3			
4			
5			

☐ 取得値 OK キャンセル

アプリ共通名称取得 パラメータ

取得先変数名

アプリケーション名称 C:\MinoRobo\チュートリアル\10_Sampleアプリ\Winサン

ウィンドウタイトル RPA 一覧登録 デモ画面

アプリ対象要素 /List[1][Name=""]/Header[1][Name="ヘッダー コントロ

待ち時間 00:00:00

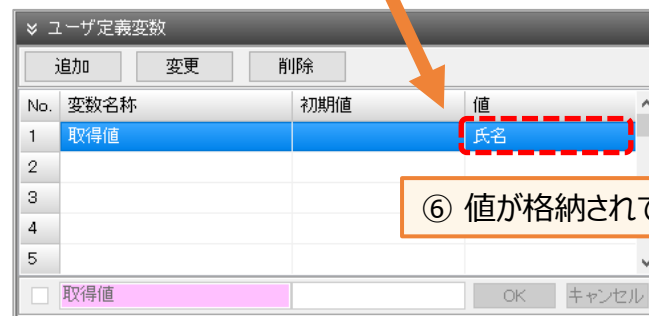
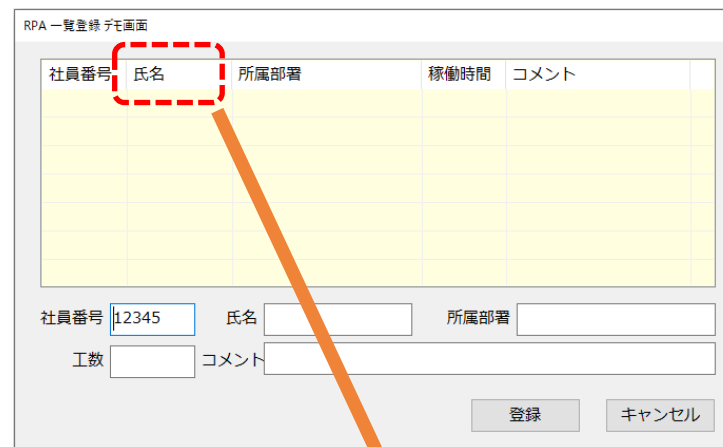
④ ドラッグ & ドロップ

◎ 値を取得する -4 ※表示内容を取得する

- ⑤ メイン画面の「選択範囲のアクションを実行」をクリックしてアクションを実行します。



- ⑥ サンプルアプリの列名称「氏名」がユーザ定義変数に格納されたことを確認します。
※ユーザ定義変数に元々設定されていた値は上書きされます。



◎ ボタンをクリックする -1

- ① 以下画像のように、サンプルアプリの「登録」ボタンにマウスカーソルを移動して**青枠**を表示します。

RPA 一覧登録 デモ画面

社員番号	氏名	所属部署	稼働時間	コメント

① 操作対象のオブジェクトに**青枠**を表示

社員番号 12345 氏名 所属部署

工数 コメント

登録 キャンセル

青枠が表示されない時は・・・

アプリケーション制御がOFFになっている可能性があります。
メイン画面の「制御(V)」→「アプリケーション」を再度選択
してお試しください。

- ② 表示された**青枠**上で右クリックしてアクション選択メニューを
表示し、「リンク(U)」→「クリック(Z)」を選択します。

RPA 一覧登録 デモ画面

社員番号	氏名	所属部署	稼働時間	コメント

社員番号 12345 氏名 所属部署

工数 コメント

登録 キャンセル

② 「クリック(Z)」を選択

- 共通(R) >
- ウィンドウ(S) >
- 項目(T) >
- リンク(U) >
- エディット(V) >
- チェックボックス(W) >
- ラジオボタン(X) >
- アプリケーション(Y) >
- エクセル(Z) >

クリック(Z)

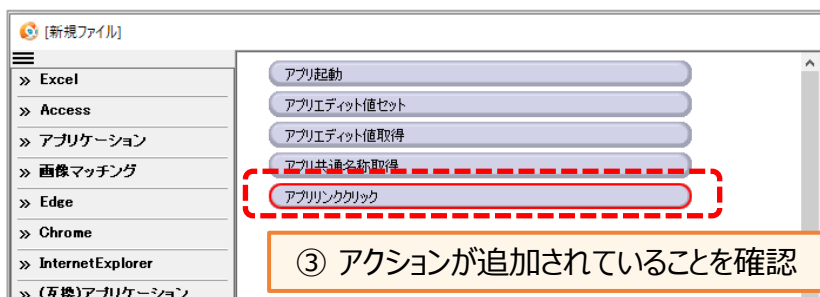


ポイント

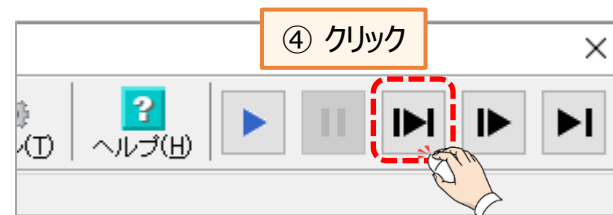
ボタンのクリックアクションを登録したい場合、「共通」→「マウス操作」でも登録可能です。シナリオ画面のパラメータでマウス操作設定「マウス左クリック」など選択することが出来ます。

◎ ボタンをクリックする -2

- ③ シナリオ画面に「アプリリンククリック」が追加されたことを確認します。



- ④ メイン画面の「選択範囲のアクションを実行」をクリックしてアクションを実行します。



◎ ボタンをクリックする -3

- ⑤ 「登録」ボタンをクリックしたことで、社員番号に入力した値が表に登録されることを確認します。

RPA 一覧登録 デモ画面

社員番号	氏名	所属部署	稼働時間	コメント
12345				

⑤ 入力した値が表に登録されていることを確認

社員番号 12345 氏名 所属部署

工数 コメント

登録 キャンセル

以上で

「～チュートリアル（基本編）～ Windowsアプリケーションをオブジェクト認識で
操作してみよう」は終了です。

お疲れ様でした。

